

東高森

東高森団地自治会
 〒259-1114
 神奈川県伊勢原市高森5丁目 TEL 0463-94-6861

発行責任者 片岡 勇司
 編集責任者 広報部

新型コロナ特別号



一年を振り返って



会長 片岡勇司

令和2年度の定例総会がコロナ禍により、開催できず書面表決となりました。書面上会長として承認されましたが、会員の皆さまと顔を合わせたわけではありませんので、1年近くを経た今でも何となく座り心地の悪い状況が続いています。ある先輩から自治会活動はコミュニケーション力、と言われてきましたが、一年中マスク越しの対話では、顔を覚えるのも大変です。行き会っても帽子にマスクでは、何処のどなたかも分からず「あいさつ」もできません。これではコミュニケーション力を磨くこともできません。コロナ禍の隙間を縫って開催してきた行事や定例会議の中から、せめて現在自治会が置かれている課題把握だけでも、と行動してきました。そして、こういう状況の中で一年の任期が終了を迎えます。難しい表現はできませんので「ありがとうございました」で締め括らせていただきます。

副会長 建石仁

本年度はコロナの第一波渦中に始まり、現在は第三波渦中です。自治会活動は文化部主担の行事の取りやめで、皆様方には印象が薄かったと思われるが、片岡会長の下に各部役員は粛々と担当事項を進めてきました。ご苦労様です。

この「東高森」が発刊される頃には「緊急事態宣言」が解除されて、暖かい日差しの元でのどかなお花見が出来ることを期待して、今一層コロナ対策を頑張りましょう。

副会長 村上義男 「つらかった一年」

自治会の主目的である「互助」「共助」を含む大事なコミュニケーションが不完全燃焼で楽しめず、歯がゆい思いをした役員さん、引き続いてもう一年やってみませんか！次年度は、試練を乗り越えて、まず一歩前進できるよう祈っています。皆様本当にお疲れさまでした。

会計 為我井太一

コロナ下であってさまざまな行事が中止となり、自治会としては異例の一年間だったと思います。その中で自治会の美点を再認識し、また悪弊と感ずることもありました。

階段役員の方が一人の例外もなく、自治会費の集金に尽力

されて収入は維持されました。その自覚の強さは誇るべき美点なのではないかと思えます。

他方、予定されていた事業が実施されなかった分、自治会費は何らかの形で返還もしくは還元されるべきだという個人的な考えは実現にいたりませんでした。

自治会とは本来そのような性質のものではないというのが大まかな理由ですが、かかる緊急事態にあっては、柔軟な運営があってもいいのではないかと思います。

会計監査 岩嶋正良

「既存の在り方は時代とともに変わり行く」

「一年間を振り返り」今の自分の仕事において、どのように改善していけばより良くなっていくのか。各部門の皆様方へどのように説明すればよいのか、また理解して頂けるにはどう伝えるべきなのかと試行錯誤しておりました。イメージやご希望にお答えしたい小さいことや大きいことも事前に把握することに努めて参りました。

「一年間の反省」各部門の皆様方とのコミュニケーションでしょうか。そして、各部門の皆様方からのイメージや要望をすり合わせていく事でしょうか。それが難しく、きちんとお伝えし、ご要望に沿って合わせているつもりでも、反省するべき点は大いにあると思っております。もっとコミュニケーションをとり、触れ合わなければならないと実感しました。

書記 榎原長紀 今期初めての自治会役員となりました

ので団地内行事の内容を知る事が出来ると思っていましたがコロナ渦のためほとんどのイベントが中止になり、定例会の中止などもある中、あっという間に1年過ぎてしまった感があります。そんな中ですが、議事録を作成することで、この団地の環境が年々変化して来ていることや、それに準じて各部の皆様のご対応や活動の一端を感じる事が出来ました。そういったことを学びとして、今春で役員は終わりますがこの団地が良い方向に向かうような意識で今後も暮らして行きたいと思えます。1年間ありがとうございました。



